

第1回（仮称）新青森市屋内グラウンド整備に係る有識者会議 議事要旨

- 日時 令和7年7月4日（金）14時00分～15時00分
- 場所 中央市民センター3階 大会議室
- 出席委員（8名） 一般財団法人 青森市スポーツ協会 理事長 柿崎委員
青森市スポーツ推進審議会 委員 斎藤委員
青森市町会連合会 会長 佐々木委員
一般社団法人 青森県建築士事務所協会 専務理事 澤田委員
公立大学法人 青森県立保健大学 健康科学部 教授 篠原委員（座長）
NPO法人 青森県障害者スポーツ協会 理事長 高杉委員
青森商工会議所 副会頭 森委員
公益社団法人 青森観光コンベンション協会 専務理事 六角委員
- 案件
- ・（仮称）新青森市屋内グラウンド整備について（資料2）

1 事務局説明

- ・案件について資料に基づき事務局より説明（資料2）

2 委員からの意見聴取・質疑応答

【（仮称）新青森市屋内グラウンド整備について】

（森委員）

- ・規模について、今のサンドームに比べて大きくするのか、あるいは今のサンドーム程度の建物となるのか。

（事務局）

- ・規模については、五所川原市やむつ市などの他地区で整備している施設も参考にしながら、今より大きくするのか、今と同じぐらいでいいのかなどについて意見をいただきながら検討していきたい。

（六角委員）

- ・かなりタイトなスケジュールではないかと感じている。
- ・先般、県のボールパークについて、ニュースに出ていたが、新しいサンドームとボールパークにはどのような関連があるのか。

（事務局）

- ・統合新病院の基本計画の基本設計・実施設計については、既に基本設計が始まっている段階であり、基本設計が出来上がるタイミング、また、実施設計のタイミングで、新しい屋内グラウンドの整備に係るスケジュールについて、もっと具体的なものが見えてくる。
- ・整備しようとしている新しいサンドームについては、隣にはカクヒログループスーパーアリーナがある。そのほか、サンドームは野球で多く使われている施設でもあることから、県有施設であるボールパーク、また、他の県の施設・市の施設の体育施設との整合を図りながら、意見をいただきたい。

(金沢地域交通・連携課長)

- ・ボールパークについては、令和6年度に有識者会議を開き、機能や整備場所について議論していただき、6月議会で、検討候補地ということで、総合運動公園にスケート場も一体的に整備すると公表し、今後、青森市や県民の意見を伺いながら、令和7年度中に基本計画を定めて、具体的な機能の詳細などを詰めていくことになっている。

(篠原座長)

- ・代替施設が完成・移転後に現在のサンドームの解体工事に着手することになると、統合新病院の工事が令和10年4月からの予定であることから、そこまでには新たなサンドームが完成するというスケジュールであるのか。

(事務局)

- ・統合新病院の工事については、基本計画の中で、令和10年4月からとなっている。基本計画では、現在のサンドームの場所は立体駐車場が整備される場所と位置づけられている。統合新病院の整備に影響を与えないように、かつ、間を空けないようにというスケジュールで新しいサンドームを整備したい。今現在、新しいサンドームの工事を令和何年からとは決まっておらず、統合新病院の整備のスケジュールに合わせて、工事が進められていく。

(柿崎委員)

- ・現在、青森市スポーツ協会には42の団体が加盟しており、その中で、今まではサンドームを使ったことはないが、こうなれば使えるという団体もあることから、今後、そういうところへの調査をしてほしい。

(事務局)

- ・次の有識者会議では、現在、主に使用されている団体から意見聴取を予定していたが、現在、利用していない団体については、今後、規模・機能を検討していく上で新たな利用者にもなり得ることから、そのような団体も含めて、幅広く意見を聞いていきたい。

(篠原座長)

- ・現在のサンドームの主な利用について、その他が7.5%であるが、どういう団体が利用しているのか。

(事務局)

- ・現在のサンドームにおいて想定している競技としては、野球、ソフトボール、ハンドボール、ゲートボール、サッカーなどがあり、この中で、その他である7.5%の中で大きな割合を占めているのはソフトボールである。あと、少年のティーボールの大会なども開催されている。

(篠原座長)

- ・新しいサンドームについては土なのか、人工芝なのか教えてほしい。

(事務局)

- ・現在のサンドームは土であるが、五所川原市やむつ市のほか、県内にたくさんの屋内グラウンドが整備されており、それぞれ、土のグラウンドもあれば、芝のグラウンドもある。今後、機能を検討する中で、土がいいのか、芝がいいのかについても、意見をいただく場を設けたい。

(篠原座長)

- ・柿崎委員から意見があった競技団体に対するアンケートなどについて、今後、実施する可能性があるのか。

(事務局)

- ・有識者会議の進行に当たり、利用者や地元住民の意見も積極的に取り入れ、有識者会議で検討してほしい。

(柿崎委員)

- ・現在のサンドームにあるトレーニング室や会議室については、新しい屋内グラウンドにおいても整備していく方針であるのか。例えば、現在のトレーニング室について、新しい屋内グラウンドにおいては、多目的室のようにして、ヨガなど、さまざまな団体が使えるような可能性はあるのか。

(事務局)

- ・現在のサンドームが持っている機能を基本としながら、新しく付け加えるべき機能や、それぞれの諸室がどうあるべきかについても、意見をいただいて決めていきたい。

(柿崎委員)

- ・現在、サンドームの中で、子どもたちが野球などをやっているときに、観客として、大人たちが見る場所があまりなく、ジョギングコースで見る人もいるが、今後、ジョギングコースを広く取り、見る人とすみ分けるような形でジョギングコースを設定するといった要求もできるのか。

(事務局)

- ・新しい屋内グラウンドの機能については、現在の利用状況を踏まえて、改善してほしい事項などを聞いた上で、必要性を判断したい。柿崎委員からの意見は、他の利用者の方からもたくさんいただいている意見であることから、有識者会議で議論していただき、最終的に整備方針として打ち出していきたい。

(篠原座長)

- ・今のような観戦する機能などを持たせたほうがいいということについては、この有識者会議で話し合っていけばいいのか。

(事務局)

- ・そのとおりである。

(澤田委員)

- ・一利用者として使ったことがあるが、やはりお子さんが試合などをしているときに、手前側で父兄が観戦していた。
- ・サンドームについては、広い空間であることから、暖冷房がなかなか難しいと思うが、冬にはかなり着込んで観戦しており、観戦する環境も1つの課題になる。

(篠原座長)

- ・冷暖房についてはどのように考えているか。

(事務局)

- ・現在のサンドームにおいては、暖房がグラウンドにはなく、寒いという意見はたくさんいただいている。その課題については、新しく整備するに当たり、どのような方法があるのか、意見をいただき、より使いやすい施設となるように検討していきたい。

(高杉委員)

- ・パラスポーツの観点からすると、どうしても車椅子に座ったまま観戦するとなると、やはり一段高いエリアを作ってもらったほうが、観客としては見えるスペースができてくる。
- ・「青森操車場跡地の概要」に記載がある、既存道路の拡幅や、侵入路・アクセス道路の検討などについては、新しい屋内グラウンドの整備に合わせて工事していくのか。

(事務局)

- ・セントラルパーク地区にはカクヒログループスーパーアリーナがあり、それに加えて、新しく屋内グラウンドもこの地区に移転することになることから、今現在、県と市で新駅の整備について、勉強会を開催しながら検討を進めている。また、車を利用する方が多いことから、交通渋滞を起こさないように、また、駐車場がきちんと使えるようにという観点も念頭に置きながら議論を進めていきたい。

(篠原座長)

- ・新しい屋内グラウンドを建てるときに、カクヒログループスーパーアリーナがすぐ近くにあることを考慮し、駐車場をどちら側に整備するのか、考えはあるか。

(事務局)

- ・新しい屋内グラウンドは市の施設のカクヒログループスーパーアリーナと同じ敷地に整備することになるため、駐車場や交通アクセスについては、連携しながら検討していく必要がある。

(澤田委員)

- ・私の利用者としての肌感であるが、かなり大きな大会がカクヒログループスーパーアリーナで開催されていて、駐車場がいっぱいで、なかなか車が停められない。

(篠原座長)

- ・駐車場については、車がないと移動が難しい方も多くいることから、駐車場は確保できたほうがいい。

(佐々木委員)

- ・令和6年度に住民・市民の意見を募集しているが、事務局でそれを取りまとめ、集約したものを資料として、有識者会議に出してもらいたい。

(柿崎委員)

- ・例えば、ラグビーやサッカーなどは長方形の会場で、120メートル×70メートルあれば、公式な試合が可能であり、円形的なドームを造って、その中に、そういう会場を造るとなれば、お金は相当かかる。今のサンドームのように、50メートル×100メートルであれば、まだお金はかからなくて済み、子どもたちの野球はそれなりにできる。子どもたちにとって、野球ができる会場があるということは、すごい喜びにもなるので、私としては大いに賛成である。100メートル×100メートルの会場が難しいのであれば、そういう会場でもオーケーという気持ちである。そういう意味では、維持費も必要であるし、使用料もすごく高いとなるのも問題である。使用料は、今のサンドームの使用料がちょうどいいところであり、それよりも高くなるとつらい。

(斎藤委員)

- ・今のサンドームの中には、グラウンド以外に、ジョギングコースやトレーニング室、第1・第2会議室があるが、カクヒログループスーパーアリーナにもジョギングコースがあることから、附帯設備として、どの程度までを現在と同じようにするのか、それとも、もう少し増やすのかというところは興味のあるところである。

(澤田委員)

- ・いろんな意見を伺っていくと、どうしてもどんどん膨らんでいくような感じがして、柿崎委員からもあったが、予算面からくる規模の上限があると思う。そういったものを早めに示してもらったほうが、いっぱい聞いた上で、これもできません、これもできませんとならないかと思うことから、検討してほしい。

(高杉委員)

- ・斎藤委員からあった機能が重複している部分について、そこをカットすることによって、例えば、グラウンドとして利用するのであれば、グラウンドとして利用する機能として集約すると、設備面であったり、部屋であったり、いろんな面積も集約になったりして、そうなれば、その増えた分の予算を利用したい規格に合わせたサイズにもっていけるのかなと思う。

(森委員)

- ・澤田委員からあったように、市民の意見を取り入れて、それを反映させるという姿勢は非常に素晴らしいと思うが、ある程度のものをまとめた上で示してもらわないと収拾がつかなくなってくる。残り4回ということであれば、規模感にしても、お金にしても、程度があるだろうし、あと、機能面については、ここはどうしたほうがいいんでしょうかなどという進め方をしたほうがいい。

(六角委員)

- ・統合新病院のスケジュールに非常に左右されるというお話であると思うので、この辺がどういうスケジュール感になるのかということがあるのかなと思って聞いていた。
- ・整備費について、これから議論になり、これは県が市に協力することになっているようであるので、県が出すのか、市がどれくらい出すのかという話になろうかと思うが、これからの子どもたちのためにも、あまり夢のない建物ではなく、せっかく議論をするので、やれるだけのことは議論をして、これから少子・高齢化になるので、子どもたちに夢のある建物をぜひ造っていただければと思う。